

CASBEE-新築(簡易版)2008年版

三條22棟(仮称)

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2008年

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.2.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
				評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質								3.4	
Q1 室内環境					0.40			3.7	
1 音環境				2.8	0.15	2.7	1.00	2.7	
1.1 騒音				3.0	0.40	3.0	0.40		
1 暗騒音レベル				3.0	1.00	3.0	1.00		
2 設備騒音対策				-	-	-	-		
1.2 遮音				3.0	0.40	2.8	0.40		
1 開口部遮音性能				3.0	1.00	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能				-	-	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	2.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20		
1.3 吸音				2.0	0.20	2.0	0.20		
2 温熱環境				1.0	0.35	5.0	1.00		4.2
2.1 室温制御				1.0	1.00	5.0	1.00		
1 室温設定				-	-	-	-		
2 負荷変動・追従制御性				-	-	-	-		
3 外皮性能				1.0	1.00	5.0	1.00		
4 ゾーン別制御性				-	-	-	-		
5 温度・湿度制御				-	-	-	-		
6 個別制御				-	-	-	-		
7 時間外空調に対する配慮				-	-	-	-		
8 監視システム				-	-	-	-		
2.2 湿度制御				-	-	-	-		
2.3 空調方式				-	-	-	-		
3 光・視環境				2.7	0.25	3.2	1.00	3.1	
3.1 昼光利用				3.0	0.30	3.5	0.50		
1 昼光率				-	-	4.0	0.50		
2 方位別開口				-	-	3.0	0.30		
3 昼光利用設備				3.0	1.00	3.0	0.20		
3.2 グレア対策				2.0	0.30	3.0	0.50		
1 照明器具のグレア				-	-	-	-		
2 昼光制御				2.0	1.00	3.0	1.00		
3.3 照度				3.0	0.15	-	-		
1 照度				3.0	1.00	-	-		
2 照度均斉度				-	-	-	-		
3.4 照明制御				3.0	0.25	-	-		
4 空気質環境				5.0	0.25	4.3	1.00	4.5	
4.1 発生源対策				5.0	1.00	5.0	0.63		
1 化学汚染物質		ホルムアルデヒド以外のVOCについても発生の少ない建材を採用		5.0	1.00	5.0	1.00		
2 アスベスト対策				-	-	-	-		
3 ダニ・カビ等				-	-	-	-		
4 レジオネラ対策				-	-	-	-		
4.2 換気				-	-	3.3	0.38		
1 換気量				-	-	3.0	0.33		
2 自然換気性能				-	-	4.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮				-	-	3.0	0.33		
4 給気計画				-	-	-	-		
4.3 運用管理				-	-	-	-		
1 CO ₂ の監視				3.0	-	-	-		
2 喫煙の制御				1.0	-	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	2.6	
1 機能性				4.0	0.40	2.4	1.00	2.7	
1.1 機能性・使いやすさ				4.0	1.00	2.0	0.60		
1 広さ・収納性				-	-	3.0	-		
2 高度情報通信設備対応				-	-	2.0	1.00		
3 バリアフリー計画		バリアフリー利用円滑化基準を満たしている		4.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性				-	-	3.0	0.40		
1 広さ感・景観				1.0	-	3.0	1.00		
2 リフレッシュスペース				1.0	-	-	-		
3 内装計画				-	-	-	-		
1.3 維持管理				-	-	-	-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	-	-	-		
2 維持管理用機能の確保				2.0	-	-	-		
2 耐用性・信頼性				2.7	0.31	-	-	2.7	
2.1 耐震・免震				3.0	0.48	-	-		
1 耐震性				3.0	0.80	-	-		
2 免震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.33	-	-		
1 躯体材料の耐用年数		品確法のコンクリートの評価基準で等級3相当		5.0	0.23	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.23	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		床・内壁・天井仕上の耐用年数20年を満たしている		4.0	0.09	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.08	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.15	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				2.0	0.23	-	-		

2.3 適切な更新						
2.4 信頼性			1.4	0.19	-	-
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-
2	給排水・衛生設備		1.0	0.20	-	-
3	電気設備		1.0	0.20	-	-
4	機械・配管支持方法		1.0	0.20	-	-
5	通信・情報設備		1.0	0.20	-	-
3 対応性・更新性			2.8	0.29	2.5	1.00
3.1 空間のゆとり			-	-	3.0	0.50
1	階高のゆとり		1.0	-	3.0	0.60
2	空間の形状・自由さ		2.0	-	3.0	0.40
3.2 荷重のゆとり			3.0	-	2.0	0.50
3.3 設備の更新性			2.8	1.00	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-
2	給排水管の更新性		2.0	0.17	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-
2 まちなみ・景観への配慮		周辺の町並みに合わせた積極的な取組みがとられている	5.0	0.40	-	-
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地域コミュニティ形成を促すオープンスペースを創出している	5.0	0.50	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.40	-	-
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-
3 設備システムの高効率化		照明のデイトライトセンサー・タイマー制御	4.1	0.40	-	-
4 効率的運用			-	-	-	-
4.1	モニタリング		-	-	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-
1 水資源保護			2.8	0.15	-	-
1.1	節水		1.0	0.40	-	-
1.2	雨水利用・雑排水再利用		4.0	0.60	-	-
1	雨水利用システム導入の有無	雨水貯留タンクを設け雨水利用している	4.0	1.00	-	-
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			3.1	0.63	-	-
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生クラッシュラン(RC-40)を路盤材利用	3.0	0.20	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	GL工法を採用	4.0	0.24	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22	-	-
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-
3.2	フロン・ハロンの回避		4.0	0.68	-	-
1	消火剤	ハロン消火剤を使用していない	4.0	0.33	-	-
2	断熱材	ノンフロンウレタンの採用	5.0	0.33	-	-
3	冷媒		3.0	0.33	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率が、一般的な建物(参照値)に対して	4.7	0.33	-	-
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-
3	交通負荷抑制	管理用車両や荷捌き用の駐車施設を設けている	4.0	0.33	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.33	-	-
3 周辺環境への配慮			2.4	0.33	-	-
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-
1	騒音		3.0	1.00	-	-
2	振動		-	-	-	-
3	悪臭		-	-	-	-
3.2 風害、日照阻害の抑制			1.6	0.40	-	-
1	風害の抑制		1.0	0.70	-	-
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-
3.3 光害の抑制			2.9	0.20	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		2.0	0.70	-	-
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	バルコニーの庇により窓ガラスのグレアを低減	5.0	0.30	-	-